

# 職場環境改善に関する取組実施状況（公表）

## Implementation Status of Workplace Environment Improvement

本資料は、当事業所が取り組む職場環境改善に関する各種施策の実施状況について、利用者様、職員、地域の皆様へ向けた情報公開の一環として作成いたしました。当事業所では、利用者様およびそのご家族、地域の皆様に対して、日々安心してご利用いただける介護サービスの提供を最優先としております。各施策は、専門家の意見や最新の業界動向を踏まえ、厳正な内部評価及び専門家による監査（*Professional Care International 株式会社*）の下で策定されており、その効果については定期的に検証を行っております。私たちは、現場の実情や職員からのフィードバックを大切に、柔軟かつ迅速な改善策を講じることで、サービスの質の向上に努めております。さらに、取り組みの透明性を確保するため、最新の取組状況や成果を分かりやすい形で公表し、利用者様や地域の皆様からのご意見を積極的に取り入れております。今後も、信頼性の高い情報提供と、利用者様に安心していただける環境作りを進めるべく、全力で取り組んでまいります。皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

### 記

- ・ 職場環境改善取組実施状況表

以上

## 職場環境改善取組実施状況表

カテゴリ	取組み内容	別紙番号
入職促進に向けた取組み	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	1
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	1
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	2
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	2
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	3
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	3
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	4
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	4

生産性向上のための取り組み	現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	5
	介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	5
	各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約、共同で行うICTインフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、協働化を通じた職場環境の改善に向けた取組の実施	5
やりがい・働きがいの醸成	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	6
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	6

# 入職促進に向けた取組み

## 経営理念およびケア方針

当法人は、「利用者本位のケア提供」を経営の根幹とし、地域社会への貢献と介護職の専門性向上を両立することを基本理念としています。各事業所において、利用者の尊厳保持と自立支援を実現するため、確固たる運用体制のもと、一律のケアを実施しております。

## 人材育成および職場環境の整備

介護職員の能力向上とキャリア形成を最重要課題とし、定期的な研修、技能評価制度、並びにキャリア支援体制を恒常的に運用しています。業務効率化および働きやすい環境づくりに努め、すべての事業所で均一の運用を確立しております。

## 幅広い採用の仕組みの構築

当法人は、他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者や有資格者に限定せず、多様な人材の採用を推進するための採用仕組みを構築しています。具体的には、以下の取組みを定常的に実施しております。

- 1) 地域の求人情報ネットワークおよび広報活動を通じた情報発信の強化
- 2) 職場見学の実施による現場理解の促進

## 運用体制および評価

上記の各取組みは、内部監査および定量的な評価指標により定期的に検証され、業界の動向や法令改正に合わせた改善が講じられています。全事業所において均一な職場環境と入職促進の効果が維持されるよう、Professional Care International.inc 所属の専門家の助言に基づく運用体制を確実に運用しております。

# 資質向上・キャリアアップ支援について

## 実務者研修受講支援

働きながら介護福祉士の取得を目指す職員に対し、実務者研修の受講支援を恒常的に実施しております。現場での実践的な知識と技能の向上を図り、資格取得を後押しする体制を確立しています。参照：就業規則

## 専門性向上のための各種研修支援

より高度な技術の習得を目的として、Professional Care International.incの支援のもと、法令遵守や人事、経営に関する相談ができる体制を確立しています。

## キャリア面談および働き方支援

上位者および担当者による定期的なキャリア面談（希望者のみ）を実施し、各職員のキャリアアップや働き方に関する相談の機会を確保しています。職員一人ひとりの将来設計や職務適性に合わせた支援が行われ、組織全体のパフォーマンス向上につなげています。

## 評価体制と継続的改善

各種研修およびキャリア面談の実施状況は、内部監査および定量的な評価指標に基づき定期的に検証され、効果検証とフィードバックを通じた継続的な改善が図られています。すべての事業所において、均一かつ高品質な支援体制の維持を徹底しております。

## 両立支援・多様な働き方推進

### 勤務シフトおよび短時間正規職員制度の導入

各職員の事情や生活状況に応じた柔軟な勤務シフトの策定を行い、無理のない勤務体制を構築しております。短時間正規職員制度を導入することで、フルタイム勤務が困難な職員にも安定した雇用機会を提供し、働きやすい職場環境を確立しています。

### 非正規から正規への転換制度の整備

職員の希望や能力に応じ、非正規職員から正規職員への転換を促進する取り組みを行っています。キャリアパスの拡充と職員の定着を図り、組織全体の人材の質の向上につなげていきます。

### 評価体制および継続的改善

各施策の実施状況は、内部監査に基づき定期的に検証され、必要な改善策を迅速に講じる体制を整えています。すべての事業所において均一なサービス提供と、働きやすい環境の維持に努めております。

## 腰痛を含む心身の健康管理について

### 介護技術修得支援および身体負担軽減策

介護職員の身体的負担軽減を目的とし、最新の介護技術の習得を支援するプログラムを定期的に実施しています。現場における作業効率の向上と身体負担の軽減を図っています。

### 管理者向け雇用管理改善研修

事業所の管理者を対象に、雇用管理の改善および健康管理体制の強化を目的とした研修や外部の専門家に相談できる体制構築を実施しています。現場での適切な人員配置や健康リスクの早期把握、事故防止対策の徹底を図っています。

### 事故・トラブル対応マニュアルの整備

万が一の事故やトラブルに迅速かつ的確に対応するため、専門家監修のもと各種対応マニュアルの作成および体制の整備を進めています。マニュアルには、初動対応、報告手順、再発防止策などが明記され、全事業所で共通の運用が実施されています。

# 生産性向上に向けた取組み

## 生産性向上ガイドラインに基づく業務改善活動の体制構築

厚生労働省が示す「生産性向上ガイドライン」に基づき、事業所において業務改善委員会およびプロジェクトチーム（外部の専門家との相談環境）を構築し、現場の業務プロセスの見直しと改善を推進しています。また、専門家によるコンサルティングを積極的に活用し、最新の業務改善手法やICT活用事例を取り入れることで、持続可能な改善活動を実施しています。現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）についてもProfessional Care International 株式会社の専門家と毎月現場課題について相談できる環境を整えている。

## ICT機器およびソフトウェアの導入による業務効率化

介護ソフトの導入により、記録作業、情報共有、請求業務に関する転記作業を不要とし、現場業務の効率化を実現しています。タブレット端末やスマートフォン端末等の情報端末を活用することで、業務のモバイル化およびリアルタイムな情報共有を推進し、迅速な意思決定と業務遂行を可能としています。

## 事務処理の効率化

各種委員会の共同設置、指針および計画の共同策定、さらには物品の共同購入など、事務処理部門の集約を進め、重複業務の削減とコストの最適化を図っています。また、ICTインフラの共同整備や、人事管理システム、福利厚生システム等の共通化を実施することで、各法人間のシステム連携を強化し、組織全体としての生産性向上に寄与しています。

## 連携体制と定量的評価の実施

各取組みの進捗状況および効果については、定期的な内部監査（業務処理時間の短縮率、コスト削減効果、職員満足度等）に基づき検証しています。評価結果に応じたフィードバックをもとに、業務改善活動およびICTシステムの運用体制の継続的な見直しと改善を実施しており、事業所において均一な水準での業務効率化を維持しています。

## やりがい・働きがいの醸成について

### 定期的な理念・ケア方針の学習機会の提供

各事業所では、介護保険制度や法人の経営理念、利用者本位のケア方針等について、定期的に研修会や勉強会を実施しております。これにより、全職員に最新の知識が浸透し、専門性の向上と利用者に対する最適なケア提供が実現されています。

### ケア好事例および感謝情報の共有

優れたケアの実践事例や、利用者およびそのご家族から寄せられた感謝の言葉を、定例会議や社内情報共有システムを通じて広く共有しています。成功事例が横展開され、職員間の相互刺激と働きがいの醸成が促進されています。

### 評価体制と継続的改善

各取組みの実施状況は、内部監査に基づき定期的に検証され、フィードバックを反映した改善策が講じられています。全事業所において均一かつ高水準の「やりがい・働きがい」が維持され、組織全体の活力向上に寄与しています。